

平成25年 3月29日

お知らせ

資料提供

三次記者クラブ

「三次市八次水辺の楽校」が 水辺の楽校(がっこう)プロジェクトに登録されました。

この度、「三次市八次水辺の楽校」(三次市畠敷町地先・馬洗川河川敷)が水辺の楽校(がっこう)プロジェクトに登録されました。

(平成25年3月29日付け登録・三次河川国道事務所管内では2箇所目の登録)

水辺の楽校プロジェクトは、地域の個性やニーズに対応した河川整備を行うため実施している「地域と連携した川づくり」の中のひとつの施策として、平成8年度から実施されています。地域の方々と協力して子ども達の自然体験や環境学習を支援するための水辺空間の整備を行っていくものです。

今回登録された「三次市八次水辺の楽校」については、三次市八次子どもの水辺協議会において自然体験活動プランや整備内容を定めた「水辺の楽校構想」が策定されており、今後ワンド・浅瀬や通路の整備を予定しています。

三次市八次子どもの水辺協議会構成員

三次市立東光保育所、三次市立八次小学校、三次市立八次中学校
八次地区連合自治会、江の川漁業共同組合
三次市、三次河川国道事務所

●問合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(河川)

うめだ としゆき
梅田 敏之

【広報担当】

建設専門官

なかい きみお
中井 喜美男

TEL : (0824) 63 - 4121 (代表)

FAX : (0824) 63 - 3094

三次市 建設部

都市整備課長

さかもと たかひろ
坂本 高宏

TEL : (0824) 62 - 6150

FAX : (0824) 62 - 6166

三次河川国道事務所管内の水辺の楽校位置図



八次水辺の楽校
(三次市)



桂水辺の楽校
(安芸高田市)



八次水辺の楽校整備イメージ



水辺の楽校プロジェクト

～地域一体となった子どもたちの自然体験の場づくり～

河川を活用した環境学習・自然体験活動について

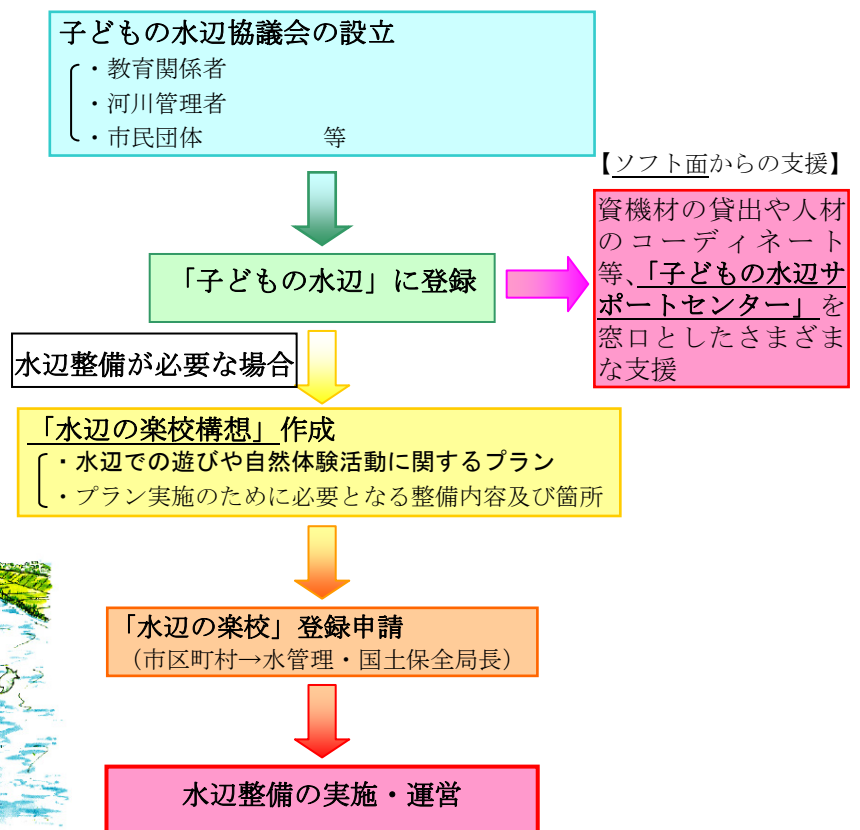
- ・人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育てていくために、環境学習や自然体験活動を積み重ねることは重要です。
- ・地域に身近に存在し、自然が残されている川は、貴重な環境学習や自然体験活動の場となっています。
- ・小中学校において「総合的な学習の時間」が本格的に実施されるとともに、完全学校週5日制が開始されるなど、自然体験活動等の場として、川への注目が集まっています。

『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』と『水辺の楽校プロジェクト』

- ・市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺（「子どもの水辺」）における環境学習や自然体験活動を推進するため、国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』に取り組んでいます。
- ・「子どもの水辺サポートセンター」において、「子どもの水辺」の登録受付を行うとともに、登録された水辺におけるソフト面（ライフジャケットなどの資機材の貸出、活動をコーディネートできる人材の紹介等）からの支援を行います。
- ・『水辺の楽校プロジェクト』は、安全に水辺に近づくための水辺整備など、「子どもの水辺」において活動を推進するにあたって必要なハード面からの支援を行うものです。



「水辺の楽校」のイメージ図



水辺の楽校のフロー